



開催報告：地域コミュニティ共創スキルアップ研修会（第2回）

- 福島県では、小さな拠点・地域運営組織の形成を通じて持続可能な地域コミュニティの共創を目指す持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ(共創カレッジ)に取り組んでいます。この取組の一環として、住民同士の話し合いの場を円滑に運営するためのスキルなどを学ぶ全4回の連続講座「地域コミュニティ共創スキルアップ研修会」を行っています。
- 第2回となる今回は『グラフィックレコーディング講座』として、絵や図形を用いて話し合いの内容をリアルタイムでまとめるグラフィックレコーディングのポイントを学ぶとともに、演習として昔話・桃太郎を題材にグラフィックレコーディングを描きました。
- 次回（第3回）の研修会では、実地研修として実際に地域住民が参加するワークショップの運営を行います。



共創カレッジHP

開催概要

日時：令和6年9月27日（金）14：00～16：00
 会場：郡山ユラックス熱海 第4小研修室
 講師：みらいくる 千葉 明恵 氏
 内容：① グラフィックレコーディングとは？
 ② グラレコを描くときのポイント
 ③ 演習～実際にグラレコを描いてみよう！～

参加人数：13名（7市町村の自治体職員、集落支援員、地域おこし協力隊など）
 主催：福島県企画調整部地域振興課
 運営：「持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ」事務局（みらいくる）

< 研修会の様子 >



< グラフィックレコーディング講座 研修資料（抜粋） >

参加者の感想（抜粋）

- 内容は難しかったですが、今後必要になると思いますので貴重な体験でした。学びたいと思っていたのでありがたいです！（地域おこし協力隊）
- グラフィックレコーディングに必要な「主催者とのまとめ方・方向性の認識の共有」「それぞれの表示形式が与える印象」などは、これから慣れていくために何度も演習が必要だと思った。（集落支援員）
- これからワークショップを行っていく上で、可視化は重要だと思うので勉強になりました。文字の書き方、絵の描き方は練習します。（集落支援員）
- グラレコを初めて体験したが、私自身、字をたくさん読むのが苦手なので、今後、役に立てられたらいいなと思った（やはり絵が入ると分かりやすい）。（自治体職員）

グラフィックレコーディングとは？



グラフィックレコーディング（グラレコ）とは、会議やプレゼンの内容を絵や図形などのグラフィックを用いてまとめる手法のことです。

- 要点や結論が可視化されるので、文章のみの情報よりわかりやすく、印象に残りやすいメリットがあります。

顔を描いてみよう

顔を描く

記号を付けると感情や状況を表せる

体を描く



構造化して会議を分かりやすくする



構造化することにより会議が視覚的に分かりやすくなり、参加者の合意形成も図りやすくなります。

グラレコを描く際には…

- 主催者やファシリテーターとの打ち合わせはしっかり（流れやゴールを把握しておく、特に「描かなければいけないこと」は、すり合わせが必要）
- レイアウトはある程度考えておこう（事前に資料をもらっておいたり、レイアウトのイメージを主催者と事前に共有しておく）
- とはいえ、準備しつつも当日の流れに沿って柔軟に（当日の流れの中で説明者が強調するポイントや参加者の関心、結論などが変わることは多くあります）

グラレコがあるとうなる？というのを事前打ち合わせで決めておく